

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

大学全体

愛知学院大学は、教育理念・目的を達成するために、学生に高い倫理観と豊かな人間性を備えることを求め、以下の5つの能力を適切に評価して、総合的な人間力を身につけていると判定した人に学位を授与します。

- ①多様な価値観をもつ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力を身につけている。
- ②幅広い教養を身につけている。
- ③社会の種々の課題を発見し、情報を収集して、論理的に分析・思考し、解決することができる。
- ④各学部・学科が求める専門分野に関する高度な知識・技能を修得している。
- ⑤愛知学院大学の建学の精神を修得している。

文学部宗教文化学科

愛知学院大学文学部宗教文化学科では、建学の精神を背景に、宗教文化に関する教育と研究を通じて養われた広い視野でグローバル社会に対応し、現代社会を生きぬく智慧と思いやりのある人間性を兼ね備え、社会に貢献できると判定した者に、学位を授与します。具体的には、以下の5つの力を判定します。

- ①宗教文化の理解を中心として、人間を取り巻く自然・社会・文化についての幅広い教養を身につけている。
- ②多様な宗教文化への理解と柔軟性のある対応力を備え、様々な価値観や思考法をもつ人々と積極的にコミュニケーションができる。
- ③宗教文化に関する様々な課題を発見し、基礎的な文献を読み解く文献学的研究やフィールドワークにより、自律的かつ創造的に研究できる。
- ④宗教学、仏教学、禅学に関する高度かつ専門的な知識・技能を有し、それを実践に生かすことができる。
- ⑤卒業論文の作成で、選定段階での課題発見力、資料や参考文献の探索を通しての情報収集力、論文執筆の過程での論理的思考や分析力・表現力を修得し、考察・研究の成果を口頭および文書で的確にプレゼンテーションできる。

文学部歴史学科

愛知学院大学文学部歴史学科では、世界史的視野に立った歴史観を持ち、品格と識見を兼ね備え、自らの意思で行動して、現代社会に貢献できる人材を送り出したいと考えます。そのため、必要な修業年限を満了し、学科での教育課程の集大成として位置づけ8単位を付与する卒業論文をはじめとして、所定の単位を修得し、かつ本学科が教育上の目的とする以下の5点の力を備えると認められた者に、学位を授与します。

- ①文献・資料の分析・活用法の修得:人類が蓄積してきた知識の総体である文献や、古文書等の史料や考古学の遺物・遺構・遺跡といった資料から、情報を探索・収集し、それを適切に取り扱い、正しく解釈して、専門的な歴史研究や展示等に活用できる。またそうした文献や資料の保存に努めることができる。
- ②論理的思考の訓練:設定した課題について、多様な学説や資料を検討して自分の考えを論理的にまとめることができる。
- ③現代的問題へのアプローチ:現代社会の諸問題を歴史学の知識や方法を活用して理解し、問題の解決をはかることができる。
- ④世界史的・多元的な視野と人間性の育成:世界史的・多元的な視野により、時間・空間を異とする地域を考察し、人間的共感をもって理解することができる。
- ⑤学術的な卒業論文の作成:①～④の力を総合して、学術的な内容と形式に加え本学科の定める要件を充足した卒業論文を組み立て、叙述できる。提出した卒業論文に関しては口頭試問や発表会等において試験を実施するが、その場において適切なプレゼンテーションを行って、他者に研究の成果を伝えることができる。

文学部英語英米文化学科

英語英米文化学科では、所定の期間在学し、所定の単位を修得した者に対し、以下の4つの能力を客観的・厳密に評価した上で、学士(文学)の学位を授与します。

- ①歴史、政治、社会、国際関係に関する幅広い知識と教養を有し、変化する世界に対応できる能力を身につけている。
- ②英語圏の人々と自由にコミュニケーションができる英語運用能力を身につけている。
- ③英語圏の人々の言語・文化的背景に対する深い知識および視野を有し、多様な価値観を理解することができる。
- ④獲得した知識や技能を活用し、他者と協働しながら課題解決にむけて建設的に取り組むことができる。

文学部日本文化学科

教養教育科目と専門科目を履修することで、広い教養と深い専門知識を修得し、社会の諸側面において自らのなかに課題をみつけ、探求していく姿勢、理論的思考と的確な判断力、社会の変容に対応できる力を身につけた人に学位を授与します。

- ①「言語」「文学」「思想と芸術」「社会と民俗」の4領域から日本文化の特質について考究することによって、自らの感性を磨き、文化の継承と創造に寄与し得る能力を養います。
- ②学生は所定の期間在籍し、学部学科の人材の養成・教育研究上の目的に沿って設定した教養科目と専門科目を履修して、卒業要件単位である128単位を修得することが求められます。
- ③4年間の集大成として、卒業論文の作成、提出を学位授与の要件としています。卒業論文の作成においては、研究テーマに関連する文献や資料の収集、アンケート調査やインタビュー調査を行います。卒業論文を執筆することを通して、自己表現力や分析力、問題探求能力などを修得します。

具体的には、以下の通りです。

【知識・理解】

- (1) 日本文化・異文化に関して説明することができる。
- (2) 日本社会の諸現象を通時的・共時的に論じることができる。

【汎用的能力】

- (1) 数量的に示された文化的・社会的事象を説明することができる。
- (2) ICT(情報通信技術)を用いて多様な情報から適切な情報を収集し、発信することができる。
- (3) 知識や情報を利用して、問題を解決することができる。

【態度・志向性】

- (1) 自己の権利と義務を適正に行使することができる。
- (2) 社会の発展のために積極的に関与することができる。
- (3) 卒業後も自律・自立して学習することができる。

【総合的な学習経験と創造的思考力】

- (1) これまでに獲得した知識などを活用して、課題を解決することができる。
- (2) これまでの学習体験から、自ら新たな課題を立てることができる。

文学部グローバル英語学科

グローバル英語学科では、愛知学院大学建学の精神を踏まえ、所定の期間在学し、学科の人材の養成・教育研究上の目的に沿って設定した授業科目を履修、卒業に必要な単位を修得し、さらに卒業研究・論文を作成した者に対し、特に卒業研究・論文の内容、修得した科目の内容、専門ゼミでの取り組み結果等を総合的に勘案し、下記の能力を備えていると判断された場合には、学位が授与されます。

①英語力

グローバル社会で求められる英語でのコミュニケーション能力。グローバル人材として活躍し得る実践的で実用的な英語力。

②異文化理解力

グローバル社会で求められる多様な文化、価値観に対する理解と思いやりを示し、多文化共生に貢献し得る能力。グローバル市民としての視点を持ち、多様性を尊重しながらグローバルレベルの諸問題に取り組むことが出来る能力。

③グローバルキャリア基礎力

グローバル社会の発展に貢献するために、英語力を生かして活躍することが出来る職業分野の基礎知識、基本的な技能を有すること。また、その分野で必要とされる英語表現の知識など、分野に特化した英語力を有すること。

④汎用的技能と創造的思考力

グローバル社会における課題を自ら発見し、これまでに獲得した知識、技能等を総合的に活用し、自己を律して他者と協働し、原因追及、情報収集、情報分析、計画立案、計画実行などの課題解決に求められる行動を主体的に行う能力。

商学部

愛知学院大学商学部は、下記のような人材の育成を目指しています。

- ① 本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」を深く理解し、高い倫理観と豊かな人間性をもつ人。
- ② ビジネスに関する専門的能力を身につけることによって、ビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図り、社会に対して主体的に貢献する人。

したがって、下記の条件を満たす者に学士(商学)を授与する方針です。

- (1) ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。
- (2) 流通、マーケティング、国際ビジネス、会計、金融、情報通信技術、ビジネスと情報との関わりといった、各人の専門領域における深い知識や優れた技能を身につけている。
- (3) 修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。
- (4) ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
- (5) 専門的な知識や技能のみならず、幅広い教養を身につけている。

経営学部

経営学部では、日々複雑に変化する環境に処して役立つ経営上の専門的能力と、これを適切に行使できる人物の育成を目指し、以下に挙げる素養を身に付けた学生に学位を授与します。

(すべての学生に求められる素養)

- ① 建学の精神に根差し、多様化する社会に対応するための倫理観と健康管理能力。
- ② 情報に対する高い感度と異文化への深い理解をもって、多様な価値観を持つ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション能力。
- ③ 社会の種々の課題を発見し、関連する情報の収集・分析・思考を通じて、解決を模索できる知識・技能。

特に専門教育においては、「組織マネジメントコース」、「生産マーケティングコース」、「会計コース」の3つから、学生が選択した履修コースにおける理論と実践についての主体的な学びを通して、以下に挙げる知識・技能をどう育んだかを適切に評価して、学位を授与します。

(組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力)

- ① 組織、マネジメントに関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出すことのできる知識・技能。
- ② 将来経営者または管理者になった際に求められる、必要な経営資源を適切に管理できる知識・技能。

(生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力)

- ① 開発、生産、物流、販売に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出すことのできる知識・技能。
- ② 自ら新たな事業を企画し運営できる知識・技能。

(会計コースを履修した学生に求められる能力)

- ① 会計に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出すことのできる知識・技能。
- ② 会計関連の資格取得等を通じ、社会に貢献できる知識・技能。

経済学部

経済学部にて所定の期間在学し、経済学部が定める科目分野ごとに卒業要件単位数をすべて満たし、教養教育科目、専門教育科目およびキャリア教育科目について所定の単位を修得するなかで以下の知識、能力を身につけた学生に対して、学士(経済学)の学位を授与します。

- ① 豊かな教養と汎用的基礎学力を身につけている。
(基礎的学士力: 教養力、文化的理解力、理論的基礎力、語学的コミュニケーション能力、数量的理解力、ICT処理能力)
- ② 幅広い経済学的知識を基盤として課題を発見し、学びの道筋を構想することができる。
(基盤的学士力: 問題発見力、論理的思考力)
- ③ 経済学の多面的な知見と多角的な分析方法を用いて課題解決を導くことができる。
(発展的学士力: 応用的分析力、協働的実践力、問題解決力)
- ④ 学びの成果の実践的な応用と総合的な活用によって経済社会の在り方を構想することができる。
(総合的学士力: 実践的応用力、倫理的判断力、総合的構想力、生涯学習力)
- ⑤ 将来の進路に向けて計画的にキャリア形成を実践することができる。
(実践的学士力: 基礎的キャリア形成力、社会人基礎力、応用的キャリア形成力)

法学部法律学科

法学部法律学科では、愛知学院大学の卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、所定の期間在学し、以下の知識、能力、資質を身につけ、教養科目・専門科目・キャリア教育科目について所定の単位を修得した者に、学士(法学)の学位を授与します。

- 1.汎用的知識
社会及び多様な文化に関する知識を理解していること。
- 2.専門的知識
法律学の体系的知識を理解していること。
- 3.汎用的能力
自己管理能力、コミュニケーション能力、チームワーク力及び文章作成能力を身につけていること。
- 4.専門的能力(法的判断能力)
事実を客観的に把握する能力、体系的・論理的に思考する能力及び物事を公正に判断する能力を身につけていること。
- 5.豊かな人間性
「公正」「正義」に代表される法の精神を理解し、また市民としての社会的責任を自覚していること。

法学部現代社会法学科

法学部現代社会法学科では、愛知学院大学の卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、所定の期間在学し、以下の知識、能力、資質を身につけ、教養科目・専門科目・キャリア教育科目について所定の単位を修得した者に、学士(法学)の学位を授与します。

- 1.汎用的知識
社会及び多様な文化に関する知識を理解していること。
- 2.専門的知識
法律学・政治学の体系的知識を理解していること。
- 3.汎用的能力
自己管理能力、コミュニケーション能力、チームワーク力及び文章作成能力を身につけていること。
- 4.専門的能力(法的・政治的諸問題の発見・解決能力)
現代的諸問題を発見する能力、複眼的視点に基づいて問題を分析する能力及び現実に即して問題を解決する能力を身につけていること。
- 5.豊かな人間性
「公正」「正義」に代表される法の精神を理解し、また市民としての社会的責任を自覚していること。

総合政策学部

総合政策学部では、現代社会を幅広く俯瞰できる教養と専門知識、課題解決のための技能を修得し、以下の能力・資質を身につけていると判定したものに学位を授与します。

【多様性への理解】

人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる。

【コミュニケーション力】

積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている。

【社会参加】

社会の一員として様々な主体と協力し、主体的に問題解決に向けた行動を取ることができる。

【課題発見力】

客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる。

【課題解決力】

課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている。

【総合的な知恵】

現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している。

健康科学部健康科学科

健康科学科では、人々が豊かな人生を歩めるように、健康科学を活かしたアプローチができる人材を養成します。健康科学が包含する専門分野において、以下の能力を身につけていると判定したものに学位を授与します。

- ①科学的根拠に基づいた知識や指導力・実践力を持っている。
- ②社会的な健康問題に対して、自ら課題を設定し解決するために考え行動することができる。
- ③コミュニケーション能力があり、協働して目標に向かうことができる。
- ④健康科学に携わる者として国際性に富んだ幅広い教養と高い倫理観を身につけている。

健康科学部健康栄養学科

健康栄養学科では、建学の精神を背景に、高い倫理観と幅広い教養を兼ね備えた国際色豊かな人材を養成します。栄養に関する教育と研究を通じて、食の専門家として人間力の向上を目指します。

- ①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている。
- ②栄養・食品・調理に関する知識を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる。
- ③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる。
- ④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法について、科学的根拠に基づき説明できる。
- ⑤栄養ケアマネジメントを実践できる。

心身科学部心理学科 ※2022年度より募集停止

心理学科では、人間および人間が営む生活に対する心理学的視点を多角的・科学的に形成し、自分およびその家族・友人等の心理的安定や活性化に活用することができ、対人支援業務のみならずあらゆる職場における業務に柔軟性をもって活用・応用することができる知識と技術を修得した者に学位を授与する。

心理学部

愛知学院大学心理学部は、下記の条件を満たす者に学士(心理学)を授与する方針です。

- (1) 高い倫理観と豊かな人間性をもって主体的に社会に貢献することができるよう、幅広い教養を身につけたと認められる者
- (2) 科学的・専門的知識をもって主体的に人間の多様な営みの中の問題を発見・解決できるよう、科学としての心理学の広範な専門知識・技術を身につけたと認められる者
- (3) 心理学・心理的支援に関する知識・技能を、家族・友人をはじめ多様な集団において実際に活用できるよう、円滑なコミュニケーションを形成し、ストレスマネジメントを施す知識・技能の基礎を身につけたと認められる者

歯学部

愛知学院大学歯学部は、大学の教育理念・目的を達成するために、学生に豊かな人間性と高い倫理観ならびに専門的知識を備えることを求め、所定の単位を修得した上で、以下の6つの能力を適切に評価して、歯科医師として適格と判定した人の卒業を認め、学士(歯学)の学位を授与します。

- ①多様な人々と良好な人間関係を構築するコミュニケーション力を身につけている。
- ②建学の精神と一般教養ならびに高い倫理観と生命科学に関する基本的知識を身につけている。
- ③グローバルな社会で歯科医師の果たす役割を科学的視点から捉え、思考し、行動することができる。
- ④口腔領域の疾患の予防・診断・治療に関する専門的知識を修得している。
- ⑤歯科治療に必要な高頻度治療の基礎的技術訓練を修了している。
- ⑥地域包括医療などのチーム医療に関する基礎的知識を身につけている。

薬学部

所定の授業科目及び186単位以上を修得した者で、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士(薬学)の学位を授与します。

知識・理解

- ・幅広い教養と薬学的基礎知識を修得し、医療・福祉・介護・公衆衛生の分野においてどのように応用されるかを理解している。
- ・患者・生活者に適切な医療を提供するために必要な医療系、衛生系、臨床系、発展系科目に関する高度な薬学的専門知識を修得し、その応用方法を理解している。

当該分野固有の能力

- ・薬学的エビデンスならびに患者・生活者の情報に基づいた薬物治療法と服薬指導および患者本位の薬学的管理を提案できる。
- ・社会や地域住民の健康福祉・公衆衛生向上のために、医薬品や他の化学物質が生命や環境に及ぼす影響を専門的な観点から理解し、薬剤師として適切な情報収集と提供ならびに課題解決方法の立案ができる。
- ・患者・生活者や他の医療従事者と必要なコミュニケーションを図り、質の高い医療・福祉・介護・公衆衛生の提供に貢献できる。

汎用的能力

- ・自身の意見を伝え、他者を理解するために、適切なコミュニケーションが取れる。
- ・科学的観察力、情報分析力、論理的思考力を用いて多面的に問題を発見し、解決策を立案できる。

態度・姿勢

- ・協働の場において、自身が取り組むべき課題を理解し、適切に行動できる。
- ・薬剤師に求められる倫理観に基づいて主体的に活躍し、社会・公衆衛生・医療に貢献しようとする意欲と態度を備えている。
- ・社会の変容に対応するため、生涯にわたって自主的に研鑽を続ける姿勢を備えている。
- ・医療を担う次世代の人材を育成する意欲と態度を有している。